

平成20年度 事業状況報告書

財団法人 地球システム総合研究所

地球システム科学・工学に関連する科学技術は地球が関係するすべての分野において必要不可欠なものであり、限りある地球の安定的有効利用と社会の持続的発展を達成するためには関連科学技術の高度化とその有効利用が各分野から強く要請されている。その要請に答えるために、関連技術の更なる研究開発とその有効利用を積極的に推進することが喫緊の課題である。

そこで、当財団法人は次に示す事項に重点を置き、研究的事業および研究成果の実用化を推進し、その普及に努めてきた。

- ◎ 地球システム工学の基幹分野である建設・防災・環境保全及び地下資源開発やエネルギー開発などに関連する工学に関する基礎的・応用的研究の推進。
- ◎ 現場から寄せられる地下構造解明、地質・地盤の安定性の診断や防災対策などに関する諸問題を解決するための実地的な研究と助言。
- ◎ 開発された新技術の実用化の推進。
- ◎ 研究会・講習会などの開催。

平成20年度は、公益的活動のさらなる活性化のために、各部門研究会が中心となって活動を展開し、地球システム工学の基幹分野である地質工学・探査工学・地盤工学・岩盤工学・防災工学などに関する研究活動を活発に行なった。さらに、これまでの研究成果を踏まえ、地球システム工学に関する研究成果の普及とその有効利用を促進するために、特別講演会を1回、研究会を3回、フォーラムを5回主催すると共に、タイ国バンコック市で開催された EIT-JSCE Joint International Symposium on Rock Engineering 2008 の開催を支援した。また、当財団法人のホームページの充実を通して関連科学技術の啓蒙普及に尽力した。以下に本年度の活動状況を示す。

[1] 理事会、評議員会

「平成20年度 第1回定例理事会」

平成20年6月24日、9:30~12:00、 京都大学桂キャンパス C1-2号棟226号室
出席理事：7名（全員）、 出席監事：2名（全員）

「平成20年度 定例評議員会」

平成21年3月9日、13:30~15:30、 京都大学桂キャンパス C1-2号棟226号室
出席評議員：16名（全員）、出席理事：1名、 出席監事：1名

「平成20年度 第2回定例理事会」

平成21年3月30日、10:00~12:00、京都大学桂キャンパス C1-2号棟226号室
出席理事：7名（全員）、 出席監事：2名（全員）

[2] 部門研究会活動

平成20年度に新たに地下可視化研究会と地下水工学研究会の2部門研究会が設置された。

現在、当財団法人内には次に示す9部門研究会が設置されており、それぞれの部門研究会が活発な研究活動を実施するとともに、講演会および研究会を開催した。

- 1) 地球統計学研究会、 2) 岩盤工学研究会、 3) 写真計測研究会、

- 4) 京都地盤研究会、 5) 岩盤水理研究会、 6) ジオリスク研究会、
7) 東南アジア岩盤研究会、 8) 地下可視化研究会、 9) 地下水工学研究会

[3] 事業

1) 調査受託

調査受託は無かった。

2) 研究受託

9件の研究を受託し、自主的及び公益的研究を実施した。

3) 研究会・講演会・講習会

1. 主催

今年度は部門研究会が中心となる下記の講演会・研究会及びフォーラムを開催した。

① 京都地盤研究会 第13回 特別講演会

日時：平成20年5月14日 15:30～17:00、 場所：京大会館 101号室、 参加者：79名
「地盤の耐震診断—最近の動向」

京都大学防災研究所教授 井合 進

② 京都地盤研究会 第37回研究会

日時：平成20年7月25日 13:30～17:00、 場所：京大会館 101号室、 参加者：84名
「地域防災・減災へのチャレンジ — 解析からのアプローチ」

(独) 防災科学技術研究所 招聘研究員 中山 守

「河川堤防の耐震性能照査について」

(株) 建設技術研究所 水工部地盤構造室 室長 李 圭太

「2004年台風23号、京都府の災害復旧の取組と防災対策」

京都府建設交通部砂防課 副課長 石田 清一

* 参加者は、土木学会認定CPDプログラム(認定番号JSCE08-0175)3.5単位
を取得できる。

③ 地球統計学研究会 第1回 エネルギーフォーラム 2008

日時：平成20年10月10日 10:00～12:00、 場所：京都大学・桂 C1-192号室
参加者：46名

「進歩する石油・天然ガスの資源開発～資源獲得と技術の役割～」

(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石油開発本部 R&D 推進部 部長 大野 健二

④ 地球統計学研究会 第2回 エネルギーフォーラム 2008

日時：平成20年10月17日 10:00～12:00、 場所：京都大学・桂 C1-192号室
参加者：45名

「LPG 国家備蓄の概要と建設プロジェクトの現況」

(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石油ガス備蓄部 調査役 中島 秀一

⑤ 地球統計学研究会 第3回 エネルギーフォーラム 2008

日時：平成20年10月24日 10:00～12:00、 場所：京都大学・桂 C1-192号室
参加者：58名

「21世紀まで続く炭化水素の時代」

(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石油開発支援本部 担当審議役 本村 真澄

- ⑥ 地球統計学研究会 第4回 エネルギーフォーラム 2008
 日時：平成20年10月31日 10:00～12:00、場所：京都大学・桂 C1-192号室
 参加者：54名
 「ガス田開発のための海洋構造物」
 (独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石油開発技術本部 R&D 推進部 専門職員 浅沼 貴之
- ⑦ 地球統計学研究会 第5回 エネルギーフォーラム 2008
 日時：平成20年11月7日 10:00～12:00、場所：京都大学・桂 C1-192号室
 参加者：64名
 「世界経済と世界情勢の中の石油」
 (独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 特命審議役 調査部 首席エコノミスト 石井 彰
- ⑧ 京都地盤研究会 第38回研究会
 日時：平成20年11月13日 13:00～16:30、場所：ウイングス京都イベントホール
 後援：京都府土木施工管理技士会
 参加者：62名
 「中国四川大地震の被害と教訓」
 岐阜大学工学部社会基盤工学科 准教授 馬 貴臣
 「地盤情報と地震災害の想定技術」
 (財)地域地盤環境研究所 地域地盤研究部門総括グループ長 山本 浩司
 「わが国の災害の歴史と国土交通省近畿整備局の防災の取組」
 国土交通省近畿地方整備局 近畿技術事務所長 山本 剛
- * 参加者は、土木学会認定 CPD プログラム (認定番号 JSCE08-0512) 3.5 単位
 を取得できる。
- * 参加者は、全国土木施行管理技師連合会認定 CPDS S プログラム (登録番号 37063)
 3 ユニット を取得できる。
- ⑨ 「京都地盤研究会 第39回研究会」
 日時：平成21年2月26日 13:30～17:00、場所：京大会館101号室
 後援：京都府土木施工管理技士会
 参加者：76名
 「神戸空港島の建設に関わる諸問題」
 神戸大学都市安全研究センター 教授 田中 泰雄
 「地盤震動と地下構造物の被害」
 京都大学大学院工学研究科 准教授 清野 純史
 「阪神高速道路大和川線の概要」
 阪神高速道路株式会社堺建設部 部長 坂下 泰幸
- * 参加者は、土木学会認定 CPD プログラム (認定番号 JSCE08-0728) 3.5 単位
 を取得できる。
- * 参加者は、全国土木施行管理技師連合会認定 CPDS S プログラム (登録番号 45323)
 4 ユニット を取得できる。

2. 共催

なし。

3. 協賛

なし。

4. 後援

なし。

5. 開催支援

「EIT-JSCE Joint International Symposium on Rock Engineering 2008」

開催場所：タイ国バンコック市。

以上のように本年度は自主研究及び受託研究を実施するとともに、講演会・研究会及びフォーラムを開催して、地球システム工学の中心的な学問分野である地質工学・探査工学・地盤工学・岩盤工学・資源エネルギー工学に関する研究および啓蒙・普及活動を積極的に行ない、関連する科学技術の発展に寄与するとともに有意義な多くの研究成果が得られた。

以上